



HP: <http://rakuno.org/>

風声雪語 —野幌だより—

酪農学園同窓会連合会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

第24回ホームカミングデー開催報告

トピック
HPの更新状況から
○高等学校関連

○短期大学関連

○大学関連
2015年

○地区支部同窓会関連
2015年

台風の影響から小雨模様の中、9月12日(土)、午前11時から第24回を数えるホームカミングデーが同窓生会館前駐車場および黒澤記念講堂を会場に開催された。今年で4年目を迎える本学関連食材によるバーベキューランチを行い、約100名の方々にご出席いただき、野外ランチを楽しむことが出来ました。

食材は、本学元野幌の肉畜生産ステーションで肥育された日本短角種や乳製品製造の牛乳、アイスクリーム、講師の山のハム工房グローバルのバジルウイナーとチョリソー、野村武顧問差入のとうもろこし等々。

午後、会場を黒澤記念講堂に移して、1時30分からホームカミングデーの記念礼拝(物故者



追悼)、記念講演が加藤清雄校友会事務局長の進行で開催された。記念礼拝の司式は、榮忍とわの森三愛高校校長によって行われ、讚美歌合唱のあと、聖書「ルカによる福音書15章17～19節」が朗読され、加藤事務局長から物故者のご芳名が読み上げられ、物故者追悼礼拝が行われた。

記念講演会では岐阜県恵那市において山のハム工房グローバル代表である獣医学科8期生の石原潔氏を講師としてお迎えした。「ハム屋の創造物語—獣医解剖学教室からNOSAI、そしてガンジスヘー」をテーマにして、キリスト教に根ざした今日までのさまざまな経歴や人との出会いについてご紹介いただいた。



同窓会の現況 (卒業生数)

2014年度 累計卒業生数

大学院	計	1,528名
大学	計	27,925名
短大	計	9,487名
高校	計	19,246名
合計	計	58,186名
酪農義塾	計	303名
酪農学校	計	92,000名

総合計
150,489名



地区支部の設置状況 () は未設置

北海道1区	: 3支部 (1) (江別)
北海道2区	: 6支部 (3) (空知1)(胆振2)(日高2)
北海道3区	: 5支部 (2) (後志1)(後志2)
北海道4区	: 6支部 (2) (上川2)(留萌1)
北海道5区	: 6支部 (0) 26支部 (8)
東北地区	: 6支部 (0)
関東甲信越地区	: 10支部 (0)
中部地区	: 7支部 (0)
近畿地区	: 6支部 (0)
中国地区	: 5支部 (1) (島根)
四国地区	: 4支部 (0)
九州地区	: 8支部 (0) 46支部 (1)

目次:

最近の話題	1
同窓会現況	1
単位・地区同窓会	2
職或OB会報告	3
同窓会現状報告	4
編集後記	4

地区支部同窓会紹介コーナー

九州地区熊本県支部総会



熊本県支部同窓会、平成26年度総会を8月23日、日曜日にメルパルク熊本ホテルにて開催致しました。前回の総会から約1年4ヶ月ぶりの集まりとなり、来賓は、小山久一同窓会連合会会長ならびに学園から福山二仁常務理事にお越しいただきました。

小山会長からは酪農学園の現状では、在校生に本校で学ぶ意義を問い、本校設立者黒澤西蔵翁の「健土国策と有畜機械農業」と言う考えが現在の農業にも通じるものがあることなどお話をいただきました。

福山常務からは学内の近況や、他県での同窓会の設立状況などを教えていただきました。宴会では同窓の友や、先輩後輩たちと思い出を語り合えることができました。同窓会連合会の発展と酪農学園の教育振興の応援を誓い、熊本県支部同窓会での再会を約束して、名残惜しみながらのお開きとなりました。

北海道第5地区(道東)釧路標茶支部BBQ交流会報告



9月25日(金)午後7時30分から磯分内市外の「酪農センターあづまや」を会場にして平成27年度事業計画に基づき、標茶支部のBBQ交流会が17名の出席者により開催された。

幹事は村上史隆、高松俊男氏。

主旨は、会員相互の情報交換並びに親睦。今回は特に、若い会員の方々との交流を目的とした。17名の参加者のうち、初参加の方が3名。40歳以下の会員が8名参加。若年層会員の参加、初めての参加者を呼び込む事ができ、大変有意義な交流会となった。

北海道第4地区(道北)宗谷支部総会



9月27日(日)浜頓別町の宗谷地区NOSAI中部支所を会場にして22名の出席者により第2回宗谷支部総会が開催された。あいにく行事重複のため学園からご来賓の出席はなかったが同窓会から小山久一会長、浦川が出席した。

総会は川口孝夫事務局長の司会で進行した。まず、土谷恒男支部長から歓迎のご挨拶と地区支部の概況報告と今年度の作柄や会則変更について紹介した。小山久一会長はお祝いの挨拶、同窓会の現況、全共時同窓会開催や附属図書館の文献複写サービス等を紹介した。

9月27日(日)浜頓別町の宗谷地区NOSAI中部支所を会場にして22名の出席者により第2回宗谷支部総会が開催された。あいにく行事重複のため学園からご来賓の出席はなかったが同窓会から小山久一会長、浦川が出席した。

総会は川口孝夫事務局長の司会で進行した。まず、土谷恒男支部長から歓迎のご挨拶と地区支部の概況報告と今年度の作柄や会則変更について紹介した。小山久一会長はお祝いの挨拶、同窓会の現況、全共時同窓会開催や附属図書館の文献複写サービス等を紹介した。

総会后、約1時間スライドを用いて小山久一会長が「建学原論」の特任教授の立場で講演した。まず、仙北学園長から依頼のあった80周年記念写真集DVDを紹介し、その後「酪農学園の今昔」ということで講演し、草創期の酪農学園について紹介した。現在地を取得する際の苦労談や建学の精神、特に土の重要性を述べた。



職域OB会（酪小獣・緑風会）紹介コーナー

酪小獣麦の会総会・研修会

平成27年7月26日(日)酪農学園大学附属動物病院2階大会議室において、酪小獣麦の会総会・研修会が35名の出席のもと午後3時より開催されました。まず研修会に先立ち、山下附属動物病院長による病院の現状と増床計画および研修会講師の紹介などをスライドを使って説明を頂きました。



研修会は、井坂光宏准教授（伴侶動物医療学）による「これまでの臨床医としての経験と肺高血圧症について」、嶋本良則教授（獣医保健看護学類）による「これまでの研究と今後の研究一臨床応用を目指して」というテーマで約1時間ずつ講演をしていただきました。

総会は午後5時より松尾直樹事務局長の進行で始められ、南繁会長の会長あいさつ、野村 武前酪農学園同窓会連合会会長および中出哲也獣医学類長のあいさつと続きました。

総会議長には札幌市開業の林 茂先生が選出され林議長進行のもとで議事進行が進められました。

議案は、①平成26年度事業報告と決算報告について報告があり、星野佐登志監事による会計監査報告がありました。続いて②平成26年度剰余金処分案③平成27年度事業計画案と収支予算案④平成27年度会費の金額および徴収方法について審議され、承認されました。

また、体調不良で副会長を辞任された北島哲也氏の後任には、役員会で推薦を受けた玉井 聡氏が承認を受け副会長に就任しました。

規約改正についての議事の場面では、他大学卒業生は賛助会員としての入会を認め、それに関わる会則の変更がありました。さらに会員区分をより明確化したほうがよいのではないかという藤澤 剛教授からの提言があり、今後役員会で検討していくこととなりました。

総会研修会のあとは、トンデンファームに会場を移し懇親会を開催しました。



緑風会中央研修会



例年以上の猛暑が続く8月1日(土)午後1時から第8回を数える緑風会（教員OB会）の中央研修会がC1号館101教室を会場に、学園関係者を合わせて34名の出席により開催された。岡田正裕事務局長の司会で進行。開会式では主催者代表挨拶として西田丈夫会長（岩見沢農業高校校長）から本日の教育実践報告でもあるSSH（Super Science HigtSchool）やAFSの紹介や干場敏博事務局長の退任報告があり、謝意を述べた。共催者代表挨拶では寺脇良悟教職センター長から日頃の教育実習等へのお礼と講演2の教職コースについて紹介した。同窓会と入試部からは配付資料の紹介と同窓会の概要報告並びに小山久一同窓会会長から同窓会の現況についてご紹介いただいた。

2. 講演Ⅰでは仙北富志和学園長から「黒澤西藏の農思想に学ぶ」と題して約50分、黒澤西藏翁生誕130年・遺訓を聴く「健土と健民に虹を架けた農思想」のスライドを用いて、黒澤翁の生い立ちから時系列的に主な遺訓集から抜粋した翁の農思想を紹介した。

仙北学園長は、産業界、教育界、政界等で幅広く活動した翁は3回叙勲を受けたことや、今日国土が放射能で汚染され、自給率が低下する中で、健土健民健産の三健論を唱えた翁の先見性を紹介し、亡国論への警鐘を鳴らした。

3. 教育実践発表では（1）SSH（Super Science Highschool）への取組、完成年度を迎えてと題して北海道岩見沢農業高等学校 松浦直哉教諭が発表した。

SSHにH25年に指定された岩見沢農業高校は「我が国の農業科学技術系人材を育成する農業科学プログラムの開発」をめざし、「農業と科学および英語教育を融合した学習プログラム」について、目指すものとして1）農業科学技術を高める。2）課題解決能力や論理的思考力を高める。3）世界の貢献できる国際性を身につける。将来像として農業・科学技術のスペシャリストや農業・理工系大学への進学となっている。

主な事業内容として7時間目の設定や土曜授業、ALTの常駐、海外研修、学会発表等が挙げられる。まとめとして英語への親近感等が紹介された。

続いて（2）北海道農業高等学校実習生製品の安全管理「自主規制制度AFS」への取組と題して同じく岩見沢農業高等学校渡部哲哉教諭から報告いただいた。

3. 講演Ⅱとして「本学教員養成の取組一教職コースの現状」を教職課程室長の岡島毅教授（草地・畜産学教育研究室）から本学の教職コースの概要について詳細にご紹介いただいた。研修会終了後は、会場をレストラン「トンデン館」に移動して懇談会が開催された。

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



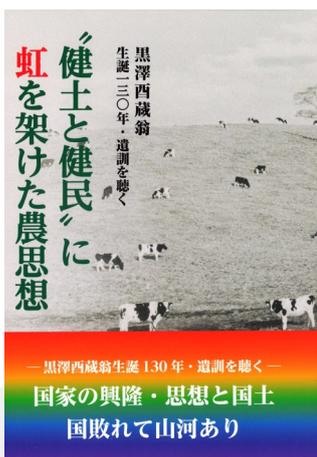
同窓会は卒業生を応援します



図書進呈のお知らせ

仙北富志和学園長（酪農学科1期生）が創立者黒澤西蔵生誕130年を記念して「『健土と健民』に虹を架けた農思想」という書籍を1月15日に発行した。

創立者の「遺訓を聴く」との副題でまとめられています。希望者は82円切手2枚（郵送費実費分）でお送りします。上記同窓会事務局までお申込み下さい（再掲）。



同窓会事務局から

最近の話題として今年は1年生全員が参加する基礎農園（5×3m）に職員もエントリー可能でしたので、写真のとおり、「あるまめーとガーデン」として参加しました。

栽培したのはインゲン2種（平鞆インゲンとモロッコ）とトラ豆。6月19日に播種。7月3日に豆の手として竹120本準備。順調に育ち、お盆明けの8月20日に収穫開始。日当たりがいいのと農場で堆肥を十分入れていただいていたので豊作でした。すべて勤務時間外の早朝作業ですが、来年も職員への農園開放があれば参加したいと思っています。収穫物は、同窓会職員や学園関係者、農園担当学生へもお裾分けしました。

現在、「酪農学園同窓会」のHPにおいて、各種の同窓会情報を掲載しております。また、「大学同窓会校友会HP」「短大同窓会HP」「貴農同志会HP」も合わせてご覧いただけ

ば幸いです。「支部だより」のコーナーも用意してありますので

お便りをお寄せ下さい。今後、メルマガやLine等も含めて情報配信を進めていきたいと考えておりますのでよろしくご



今後の主なスケジュール

10月

18日（日）中部地区地塩会総会研修会（名古屋）

24日（土）酪農学園同窓会 in 全共（新札幌）

11月

07日（土）関東甲信越地区高校合同同窓会（東京都）

07日（土）東北地区青森県支部総会（青森市）

15日（日）近畿地区兵庫県支部総会（神戸市）

15日（日）中国地区鳥取県支部総会（倉吉市）

15日（日）酪小獣東北設立総会（宮城県）

21日（土）北海道第三地区会（八雲町）

21日（土）中国地区岡山県支部総会（岡山市）

29日（日）近畿地区和歌山県支部総会（和歌山市）

12月

06日（日）酪小獣九州ブロック臨床実務研修会（福岡）

12日（土）九州地区福岡県支部総会（福岡）

13日（日）九州地区大分県支部設立総会（大分）

あ と が き

9月はホームカミングデーが同窓会の一大行事。企画も大切ではあるが天気でほぼ決まる。今年はあいにく小雨がぱらつく中で行われた。テントを片付けた途端に本格的に振り出した。

記念講演をいただいた、岐阜県恵那市でハム工房を営む石原潔様（獣医8期）のお話はいろいろな人との出会いに導かれた人生を語ってくれました。

閑散とした構内も、後学期も始まり学生の活気が戻ってきました。エゾリスがあちこち散歩し、きのこや栗、くるみ等秋の味覚も揃う構内は夏が終わり、秋本番となりました。

同窓会の活動も前半が終了し、11月にかけて全国各地で同窓会が予定されています。

10月末に第14回全日本ホルスタイン共進会があり、本学からも初めてエントリーしています。24日には本学OBを歓迎する同窓会も予定しておりますので来道される方はご出席いただければ幸いです。

